



あなたに もっと知って欲しい がん検診のこと

がんは、早期発見をして、早期治療を行うことで治る可能性が高くなっています。また、死亡リスクも減少します。大切な命を守るために、自分の体に向き合ってみませんか？

はじめに

1. がん検診は以下のメリットとデメリットをよく知ったうえで受診することが大切です。

メリット

- ▶ 検診を定期的を受診することでがんにより死亡するリスクが減少します。
- ▶ がん以外の病気が発見されることもあり、治療に結び付けられます。

デメリット

- ▶ がんでないのに「要精密検査」と判定されたり、がんの種類や場所によっては100%発見できなかったりします。
- ▶ 検査によって体に負担がかかってしまう場合があります。

2. 自覚症状がある場合は、検診を受けるのではなく、かかりつけ医等に相談しましょう。

3. がん検診は望ましい間隔で、定期的を受診することが大切です。



もくじ

- ①がんは他人事ではなかった! . . . 1
- ②がん検診はどんなことをするの?
 - 大腸がん検診 2
 - 胃がん検診 3
 - 乳がん検診 4
 - 子宮頸がん検診 6
 - 前立腺がん検診 6
 - 肺がん検診 7
- 欄外
- ③もしも「要精密検査」といわれたら?

①がんは他人事ではなかった!

日本人の死亡原因

第1位

がん

特に胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんはがんによる死亡の上位を占めます。

日本人の2人に1人は生涯のうちになんらかのがんにかかります。

3人に1人はがんで命を落としています。日進市でも31.1%の人ががんで命を落としています。

(令和2年度愛知県衛生年報より)



脳血管疾患

大腸がん検診

年1回

対象 個別 40歳以上の男女
集団 30歳以上の男女

どんな病気?

近年増加傾向にあります。早期発見できれば治る可能性が高いがんで、日本人ではS状結腸や直腸のがんが多いです。

まだ便が柔らかく、自覚症状が出にくい。



血便や排便に関する症状が出やすい。

どんな検査?

便潜血検査です。便の中の血液の有無を調べます。腸の中にがんやポリープがあると血液が混じることがあります。



便潜血検査

精密検査では?

主に全大腸内視鏡検査を行い、肛門から挿入した内視鏡で大腸内を観察します。内視鏡検査とバリウムを肛門から入れて大腸を撮影する検査を併用することもあります。

②がん検診はどんなことをするの?

胃がん検診

年1回(内視鏡は2年に1回)

対象 個別(バリウム)40歳以上の男女
(内視鏡) 50歳以上の男女
集団(バリウム)30歳以上の男女

どんな病気?

日本人が最も多くかかるがんです。早期では自覚症状が出ることが少ないです。



①胃部エックス線検査

どんな検査?

①胃部エックス検査(バリウム)

胃を膨らませる発泡剤とバリウム液をのみ胃内の凹凸や胃の形を観察します。

②胃内視鏡検査

口または鼻から内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。



②胃内視鏡検査

精密検査では?

胃内視鏡検査を行います。検査で疑わしい部位がある場合は、組織を採取して悪性を調べる検査(生検)を行う場合もあります。

乳がん検診 (マンモグラフィ)

2年に1回
対象 40歳以上の女性

どんな病気？

女性がかかりやすいがん第1位で、9人に1人がかかるといわれています。発症のピークは40～50歳代です。

どんな検査？

マンモグラフィ検査（X線）です。透明なプラスチックの板で乳房を圧迫して撮影します。乳房を薄く押しつぶした分、病変の見逃しが少なくなるといわれています。

痛みは個人差があります！
とにかくリラックス



乳房の張りが強い生理前は避けて！



マンモグラフィ検査

精密検査では？

マンモグラフィ検査の追加撮影や超音波検査により、疑わしい部位を詳しく観察します。疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を採取し、悪性を調べる検査（細胞診・組織診）を行う場合もあります。

4

フレスト・アウェアネスを習慣にしましょう！

フレスト・アウェアネスとは、自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することです。

フレスト・アウェアネスにつながる！

乳房チェックのすすめ

①鏡で見てチェック！



鏡の前で腕を上げたり下げたりします。前から、横からいろいろな角度からチェックしましょう。

こんな変化に注意！

□ひきつれ □くぼみ □ただれ

②触ってチェック！

4本の指をそろえて、指の腹で円を描くように滑らせながら触ります。乳頭をつまみ、分泌液がでないかも確認します。脇の下も忘れずに！

こんな変化に注意！

□乳房や脇の下のしこりがないか
□乳房からの分泌物がないか



5

子宮がん検診

2年に1回
対象 20歳以上の女性

どんな病気？

20～30歳代女性に急増中のがんです。早期では自覚症状がありません。しかし早期発見できれば、比較的治療がしやすいがんではあります。

どんな検査？

医師による、触診・内診と細胞診です。細胞診は、子宮頸部の細胞を綿棒やブラシで軽くこすり採って顕微鏡で調べます。



生理中はできません

子宮頸部
子宮の入り口

簡単で痛みは少ない検査です！



精密検査では？

コルポスコープ（膣拡大鏡）を使って子宮頸部を詳しく観察します。疑わしい部位の組織を採取し、悪性を調べる検査（組織診）をしたり、HPV検査を同時に行ったりする場合もあります。

前立腺がん検診

年1回
対象 50歳以上の男性

どんな病気？

年をとることによって多くなるがんの1つで、65歳以上の男性で急増しています。

どんな検査？

血液検査です。血液の中に含まれるPSA（前立腺で作られるたんぱく質）の量を調べます。

6

肺がん検診

年1回
対象 40歳以上の男女



どんな病気？

日本人のがん死亡原因トップです。最大の原因はタバコです。吸っている人だけではなく、受動喫煙によってもリスクは高まるため、タバコを吸わない人も油断できません。かぜに似た症状が多く、見過ごされやすいです。

どんな検査？

胸部エックス線検査です。エックス線で肺全体を撮影します。医師が必要と認めた場合は、喀痰細胞診も行います。痰を採って、その中に肺がんの細胞が混じっていないか調べます。

ハイ、息止めて！
そのままね！



胸部エックス線検査

精密検査では？

胸部CT検査で疑わしい部位の断面図を撮影して詳しく調べます。また、気管支鏡検査で気管支鏡を口や鼻から入れて、疑わしい部位を直接観察することもあります。

7

③もしも「要精密検査」といわれたら？



★できるだけ早めに精密検査を受けましょう！

- ・がん以外の病気を発見する場合があります。
- ・がんであっても早く発見できれば、適切な治療ができ、完治の可能性も大！

※検診をより有効なものにするために、検診結果（精密検査結果を含む）は検診機関と市で共有されます。